

マルセイニュース 11月号

発行日 2015/11/22

株式会社 マルセイ
浦河町東町うしお1丁目
〒057-0005 TEL 0146-22-5123

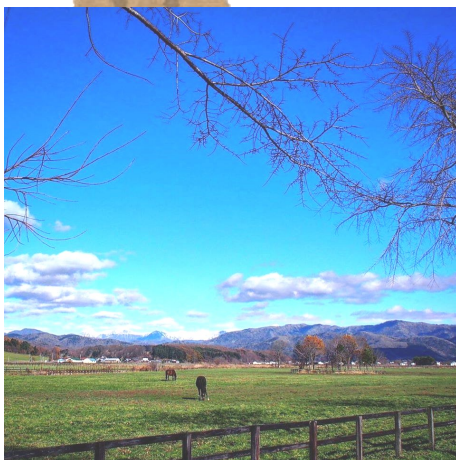


明治4年に93人の天草開拓団が幹臼地区に入植。100周年の式典では、天草市との友好交流都市提携が結ばれました。



すごい人気！100周年の式典に出席するため、人気ゆるキャラのくまモンと天草市のキャプテン海道くんが来ました。

浦河町制施行100周年の秋



白く雪化粧した日高山脈と青い空を背景に、馬が草を食んでいるのどかな風景です。



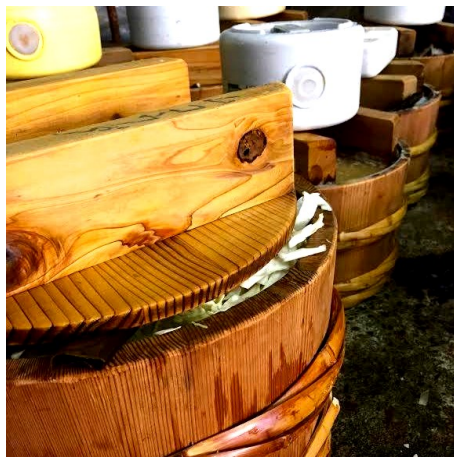
今年も賑わいを見せていた大黒座祭。看板猫のチビも集まったたくさんの人に驚いてました。



「大黒座祭」でのアカペラビートルズ。他にも色々な演芸がとても楽しかったです。



「今年もいずしが漬けてよかったね」と、各家庭の味が引き継がれていきますように。



これからの気温によっても発酵期間が変わりますが、重しを変えたりする作業などが続きます。



夕日の浦河港。逆光で浮かび上がった船の姿も美しいですね。

1. 「鮭釣り」には挑戦せぬまま初冬を迎えます。次はやっぱり浦河港での「チカ釣り」でしょうか。でも、冬の釣りはやっぱり寒いんですよ～マックス



“毎日の生活に寄り添える会社”を目指します カレンダーをご利用ください！

1年間のご愛顧の感謝を含めて、マルセイをご利用いただいているお客様に今年もカレンダーをご用意させていただきました。12月の請求書配布時に、一緒にお届けさせていただきます。今年は毎月1ページの書き込み仕様にバージョンアップ！毎日の暮らしの中でお役に立てますように^^

年末が近づくとカレンダーや日めくり、もしくは手ぬぐい(タオル)がたくさん手に入った時代がありました。今ではちよつと考えられませんが、あれも、今思うとバブルの頃だったのでしょうか。

さて、マルセイでは今年も年末のお礼とご挨拶の品にカレンダーをご用意させていただきました。書き込みができる実用的なのが使いやすくと、当社の女性たちの意見を採用したものです。カレンダーの配布は数年前からですが、お客様の自宅で実際に使っていたらいい様子に出会うたびに、大変うれしく思っています。ありがとうございます。

そこで、今年は6枚から12枚へと、毎月利用していただける仕様にスーパージョンプアップしました！デザインもちよつとかわいイラストです。そんな大げさなくと、笑われてしまいそうです。が、毎日の暮らしの中でよりお役に立てますよう！私たちがからのそんな願いも込めてお届けさせていただきます。

どうか来年もこのカレンダーを使っていたけすように♡



実は、「LPガスの正しい使い方」の周知もできる内容の優れたものカレンダーでもあるんです。



春と秋・年に2回 『危険物施設の立入検査』



浦河消防署 秋の立入り検査終了！



（でも、本当に書いてしまったよ）

とところで、この日初めてマルセイに来た担当の若者は、社長の息子の同級生の福田くんでした。保育所の頃から旧知の小さかった子が、立派な消防署員として社会で活躍している姿が眩しかったです。

検査の様子をマルセイニュースに掲載させていただきたいと許可をお願いしました。「いいですよー。」というお返事と同時に、「二人とも、彼女募集中心！って書いてもらったらいいんじゃないか？」という言葉に一同爆笑。

11月11日(水)。秋の立入り検査を受けました。こうして定期検査がある度に緊張して、設備の状況を再チェックします。このことが大切なことのひとつなのでしよう。定期検査、ありがとうございます！

昨年の秋の検査時までは、いつも会長がしっかりとサポートしてくれていました。今回は若い気田くんが担当。一緒に立ち会った社長ですが、少し離れた所からその様子を見守っていました。どうやらそれは、消防署の場合も同じようです。二人で検査に来て下さいましたが、先輩署員が若い署員のことをあたたかく見守っていたらいいました。



社長、今年の税務申告終了まであと少しです！



当社では、創業当初から会長自らが「税務申告書」を作成してきました。現社長になってからは、ばわふるがそれを継承。今年もあらゆる日常業務をこなしながら、申告書の作成に奮闘中。大安の日を選んで、間もなく提出します。

超多忙なばわふるから「腹たつ！」などと独り言が聞こえて来たとしても、決して反応してはいけません。ほどなく、「あ。コピー機がおかしいと思つたら、紙がはいってないじゃん！なんで、紙ないよーってエラー出ないの？」とこんな風に他愛の無いものなのですから。ともあれ、今年も大仕事ご苦労さまです！



申告書提出まで、奮闘が続いていたばわふるさん

「若い人も加わってマルセイさんは仕事を楽しそうですね」。余裕なくパタパタの時もある中、お客様からこんな声を掛けていただけてありがたいです。



灯油タンクの「ごみ取りフィルター」を交換。交換前後ではこんなに違います。

腐食が進んでしまった「空気抜き管」を交換している社長

タンク点検の後には、必要に応じて部品交換をおすすめしています



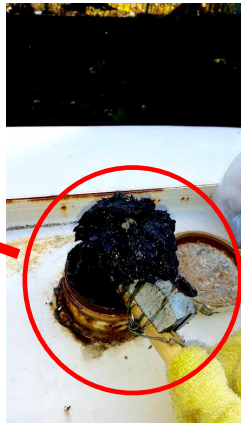
安心して、この冬を迎えて下さい



屋内タンクの無料点検をご希望の方は、お気軽にご相談下さい



外から見ただけではわかりません。タンク点検で、タンク内の傷み具合や水の混入を発見することができました。



屋外設置の490リットルホームタンクの無料点検を継続中です。壊れていたゲージや汚れていたフィルター、傷んだ通気管など、点検後にご提案させていただいた部品交換ですが、今年はずっとたくさんのお客様からご依頼をいただいています。ありがとうございます。

タンク洗浄については、お客様と一緒に相談をした結果、もう一年様子を見ることにして来年の実施にしましょうと、経過を見るような場合もあります。

左の写真はストローの故障につながりそう！と一目でわかりそうな今年のタンク点検の中の一例です。タンク内に蓄積されていたのですが、びっくりですね。これが、配管を通じて灯油と一緒にストローの方へ送られると・当然、詰まりの原因になってしまいます。

タンクの状態をチェックすることがストローの故障対策にもつながります。屋内タンクの点検もご希望の方もご相談下さい。



引っ越し後の片付けとお掃除と・

最後まで、お任せしていただきました



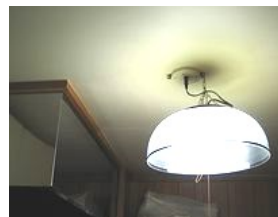
「母の家の片づけをお願いします」と、長い間当社をご利用いただいていたお客様の娘さんからご依頼をいただきました。ご主人が亡くなられてからも単身で町営住宅にお住まいでしたがこのたび娘さんと同居されるために浦河を離れることになったそうです。

マルセイの『おかず弁当』も、3年前の開始時からつい最近までご利用いただいていた方で、配達の際に交わす会話も楽しみにして下さっていました。今回、浦河を離れる最後までマルセイをご利用いただきありがとうございます。

当社がクリーン事業を始めた最初の頃の2006年11月に、「もう、高いところの事は危なくて」と、換気扇を含めた台所のお掃除をさせていただきますました。

その頃は韓流ブームの最中で、ヨン様が大人気の頃でした。「私ね、あのヨン様よりうちのヨンのの方がいいの」と笑顔で話され、それはご馳走さまですと、沈黙しているご主人を横目にみんな楽しく会話をしました。その時のことなど思い出しながら、一所懸命お掃除をさせていただきますました。どうぞ、お元気でいてください。

クリーンレディー同



「暮らしのお手伝い」クリーン事業部出勤！マルセイニュース第24号で、「電気の傘もきれいになりました。」というタイトルでご紹介させていただいた時の写真です。あれからもう9年が過ぎていたんですね。

3. もう年内は無理かなあ～。今年こそは、あたたかい季節に不要なものを捨てようと思っていたのですが・・・『断捨離』ならず！ マックス



さち
小笠原 紗智さん

● 在学中の一人旅
日高線に乗って訪れた
浦河の風景に圧倒されました

8月末より地域おこし協力隊に着任しました、小笠原紗智です。神奈川県横須賀市で生まれ育ち、高校卒業後は東京や埼玉で大学生活の6年間を過ごしました。大学では観光学部に所属し、ゼミナールにおいては主に観光地の形成や誘客施策について勉強してきました。

在学中は国内各所を一人旅して周りましたが、一年前日高本線に乗って初めて訪れた浦河の、その雄大かつ牧歌的な風景に思わず圧倒されたことをよく覚えており、そんな土地で暮らしているということが今でも半ば信じられないままです。

今後協力隊としては浦河に深く根付いている第一次産業や生活文化を活かした体験型観光、地域の方々の交流を中心として観光振興に貢献していきたいと考えています。この春大学を卒業したばかりで、首都圏から出て生活するのも初めて。何に關しても素人の私ですが、地域の方々から沢山のことを学びながら地域おこし協力隊として尽力したいと思えますので、どうぞよろしくお願いたします。

浦河の魅力や可能性に、新たな視点からスポットを当てます！

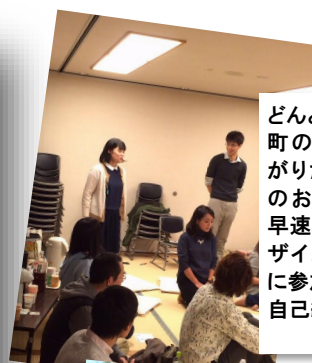
浦河町「地域おこし協力隊」が5名に増員



中川さん発案による各種観光ツアーの中から、「ふるさと納税」のオリジナル商品のひとつとしてデビューしています！



“浦河いちご”をもっと地元の食卓にも！お母さん方と一緒に作った、加藤エミさんによるいちごパフェの楽しみ方の一例です。



どんどん、町の人とつながりたい新人のお二人は、早速、「地域デザインカフェ」に参加して自己紹介！



1月に赴任した五十嵐早矢加さんは、「はまなす」を活かした商品開発に取り組み、試験販売もスタート！

おさむら さち たつみ はるか

浦河町「地域おこし協力隊」に小笠原紗智さん、辰巳遥さんの2名が新たに着任。先輩の中川貢さん、加藤エミさん、五十嵐早矢加さんと一緒に、あるいはそれぞれの得意分野を活かした活動を、これから始めようとしています。浦河町「地域おこし協力隊」が様々な取り組みを始めてから、2年と4カ月。今回新たに、「馬」と「観光」にスポットを当てたいと張り切っている若い女性二人を迎えて、これからのチャレンジがますます楽しみです。



はるか
辰巳 遥さん

● いろいろな
馬の可能性を
探っていききたいです！

生まれも育ちも大阪で、今まで大阪以外に住んだことがないので大阪人っぽさがにじみ出ているかもしれませんが、みなさまの声が励みになりますので、お気軽にお声をかけていただければと思います。これからどうぞよろしくお願いたします。

新聞を見たとき声をかけてくださり、応援してくださる方々もいらっしやうて、みなさまの熱い声援にお応えすべく、浦河で発展してきた乗馬療育をはじめ、馬でさまざまな人が楽しめるような機会を設け、いろいろな馬の可能性を探っていくことができればと思いますので、みなさまのお力添えをよろしくお願いたします。

はじめまして。10月下旬に地域おこし協力隊に着任した辰巳遥です。浦河に来てはや1ヶ月たちましたが、まだ寒さには慣れないようです。しかし、町民のみなさんのあたたかさや心がホッとして、日々救われて過ごしております。



うらかわ「食」で地域をつなぐ協議会

地域デザインカフェ Vol.34

私たちに出資してくれませんか？

～浦小ドーナツ6年生23人の挑戦！～

カフェマスター 奈良崎功さん(浦河小学校教諭)

日時:11月5日(木)19:00～21:00 東町ふれあい会館 参加費:500円

子供たちに考える力、生きる力を身に付けることを目的に2000年から「総合的な学習の時間」が導入されており、今回の「浦小ドーナツ」もその時間を活用して実施されました。教室だけでは完結できない「生きる力を学ぶこと」は、学校の先生にとっても教科書がなく、自身で考え、創意工夫を凝らすなければならぬ難しく、やりがいのある時間だそうです。

今年8月のうらかわ港まつりで販売された浦小ドーナツ。子供たちが商品開発・販売はもちろん、出店のための出資を商店街から募ることまで行いました。

今回お話ししていただいた奈良崎先生は空知管内の教育委員会に採用され、人事交流制度で2013年4月から日高に着任された方です。今回のような取り組みを授業で行うことが出来たのは、趣味や個人的な活動を通して様々な町の人との繋がりがあつたからだといえます。(デザインカフェ当日も、会場にたくさんのお仲間が来て下さっていました。)

今年8月のうらかわ港まつりで販売された浦小ドーナツ。子供たちが商品開発・販売はもちろん、出店のための出資を商店街から募ることまで行いました。



今回は浦河小学校6学年担当の奈良崎功先生に「浦小ドーナツ」の取り組みについてお話いただきました。



「浦小ドーナツ」の開発に協力した 地域おこし協力隊の加藤エミさんが再現したドーナツをみんなで試食。米粉に練り込まれた昆布がバッチリ！おいしかったです^^

奈良崎先生は「浦小ドーナツを恒例行事化しないで欲しい」と話されていました。前年度のやり方をただ踏襲するだけでは先生にとっても学校にとっても、そして地域にとっても意義が失われるからだ。

地域に住む私たちは、「先生、今年もあれやつよ！」とリクエストするだけではなく、「こんな面白い人や取り組みがあるから、必要な時には協力するよ！」と応援することが必要なかもしれない。

今回の取り組みをきっかけに、「学校と地域が子供を育てる」取り組みが、より広がることができればよいなど感じました。

うらかわ「食」で地域をつなぐ協議会 村下知宏

次のご案内です

うらかわ「食」で地域をつなぐ協議会
次回予告 地域デザインカフェ Vol.35

『うまい！浦河米で年納め』

12月10日(木) 東町ふれあい会館
19:00～21:00 参加費1000円



地域デザインカフェ Vol.35
「うまい！うらかわ米で年納め」

参加申し込み
090-5956-0610

今年最後となる今回は、これまで開催した地域デザインカフェの様子をスライドで振り返りつつ、みんなで浦河米を美味しくいただきたいと思ひます。

昨年は「手巻き寿司」、一昨年はスペシャルな玉子かけごはん(TKG)を楽しみました。さて、今年のメニューは何でしょう。

*準備の都合上、事前にお申し込み下さい。

六畳書房 オープンから1年経ちました！ Thank You!

六畳書房 1周年フェア

100冊新入品
ロービー無料サービス
焼き菓子販売
プチフリーマーケット
などなどいつもより
もうちょっとお得なフェア開催中!

六畳書房1周年フェア
11月23日(月)～25日(水)
営業時間 10:00～19:00

六畳書房が1周年を記念して3日連続で営業。プチフリーマーケット、コーヒーサービス、焼き菓子販売なども！

馬は理想のセラピスト
11月30日(月)19:00～21:00
浦河町文化会館 3階
ふれあいホール

乗ることができるアニマルセラピー「乗馬療育」について、心身への効果やその内容などをご紹介します！(参加費無料、申し込み不要)

馬は理想のセラピスト

11月30日(月) 19:00～21:00
浦河町文化会館 3階
ふれあいホール

参加費 無料
申込み 不要

～乗馬療育ってなに？～
～講師紹介～
～講師紹介～
～講師紹介～

最近読んだ
本の中より…



『コスモスの影にはいつも誰かが隠れている』 藤原新也 著 (1944) 河出文庫

本書には実話に基づく14の物語が収められています。地下鉄に置かれるフリーペーパー(無料の雑誌)に連載されました。人々に、さしたる動機もなく手に取られては15分かそこら拾い読みされ、降車時に捨てられる運命にある雑誌。そこに載せるには不似合いといつてよい人生の奇跡の物語の数々です。

著者自身があとがきで、最初のころはこのような媒体に何を書くべきか迷っていたと、告白しています。読み手を掴みきれないまま二年あまりが過ぎたといえます。そして小さなできごとがありました。少々長いですが、本文から紹介します。

兄の墓参りの帰り道、ふと会社勤めの友人の墓参り時に起きた小さな事件のことを思い出したのだ。そしてそのことを書いた。本書中の「カワラレバナ」がそれにあたる。思いがけずこの記事は反響を呼んだ。

「記事を読みながら、思わず降りる駅を通りすぎてしまった」「会社に行ってもしばらくは頭の切り替えができません。手がつかなくなった」など、さまざまに反響が寄せられたのだ。あったことを淡々と書いたまでの私はその反応にいささか驚くとともに、その理由に思いが及んだ。

昭和以降の日本に生きることににおける人々の、何か得体の知れない「渴き」である。その渴きの中に一滴のうるおいをもたらしたといふことではないのか。

二年目にして、日々通勤の途中にこのフリーペーパーを抜き取っていく名もない人々の顔が見えたように思った。そして折に触れ、私の長い人生の中で出会った出来事や普通の人々の物語を書いた。

ささやかな日常に、 心打たれる物語がひそんでいる

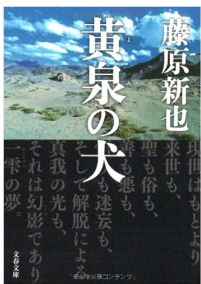
人生では驚くべきことが起きるものだ。一読して、そう思わずにはいられません。これらは普通の人生の普通の出来事とは呼べないとも思いました。しかし読み終えてしばらく経った今の考えは違います。そう、著者がいうように「これが普通の人生だと思えます。驚くべきことがときに起きるの、わたしたちの普通の人生です。奇跡のときもあれば悪夢のときもある。それらを受け止めてとにかく生き続けるのが人生なのではないでしょうか。収められている物語の中で、「尾瀬に死す」「車窓の向こうの人生」「夏のかたみ」などは驚くような出来事ですが、それでもこれが市井の人の人生に起きる奇跡なのでしょう。

わたしが好きなのは「トウキョウアリガト」と「街の喧騒に埋もれて消えるくらい小さくてかけがえのないもの」のような、事件とも呼べない日常を描いた物語です。表題作も同じく忘れたい作品でした。

40代半ばに近づいたころ、それまでの人生を一変させるできごとには遭いませんでした。多くの人間関係も清算することになりましたが、そのころに出会い文字通り手を置くことも出来ずに読んだのが、藤原新也氏の『黄泉の犬』でした。

今も手元に置いてあります。先日東京に行ったとき、この本を持った若者に出会いました。「黄泉の犬か」とつぶやいてしまった時に、青年と眼が合ったように思いました。この時思い切つて図々しくも話しかけたなら、普通の人生のひとつの奇跡の物語が聞けたかもしれないと、今になって思います。

社長



「以前は“老いを眺める”という感覚でしたが、次第に、自分自身が眺められる立場になり、“老いを感ずる”主体に移行してきた。」
新聞で見つけたこの文章の感覚に共感を覚えました。そうなんです。他人ごととして眺めてきたことが、自分のこととして近づいている。もしくは、すでにあるのです。「自分の体や心に起きる変化と向き合ったり、同世代の話を聞いたりすることが、自然に老いを受け入れ、年を重ねていくきっかけになるのではないのでしょうか」。作家の黒岩千次さん(83歳のこの言葉に、ふむふむと納得。50代後半の私ですが、最近は何心を持つことの内容や方向に変化を感じています。いや、手や顔のしみやしわも自然に受け止めたいと思います。(笑)

“自分の変化と向き合う”

その一方で、新鮮な刺激を受ける機会もまだまだあります。子育て中のお母さんが中心でしょうか。サークル「にじいろ」さんが、「母と娘の月経教室」を初開催。こういう若い人たちの取り組みからは、自分が忘れてしまった大切な感覚に出会えたりもします。それぞれの世代が、それぞれの“今”を一生懸命に生きているなあと思うとジーンとなります…。



日々の暮らしを大切にしたいと思いつつ、やっぱり今年も気づわしかなかった。それでも意識して、リラックスする贅沢な時間を作ることでできました。夏に楽しんだ「釣り」がそのひとつでした。さて、今年もあと1ヶ月頑張ろう!

リラックス



焦げたのは、ご愛嬌～。でも、おいしいんです♥

ガスを使っておいしくクッキング

スイーツ担当？キョウちゃんの登場！



ガスグリルで“アップルパイ”

社長の次は誰？ 今月号の料理は、キョウちゃんの登場です！
前はフライパンひとつで簡単にできるチーズケーキでしたが、
今回はガスグリルで作る簡単アップルパイに挑戦してみました♪

●材料（2人分）

- りんご（紅玉） 2個
- 砂糖（グラニュー糖） 50g
- 冷凍パイシート 2枚
- アイスクリーム お好みで



砂糖はりんご1個に対して20g～30gを目安に、お好みの甘さで。
(今回は、りんご1個→砂糖25g)



ガスグリルの火力は上下火、かなり弱火で20分が目安でしょうか。

●作り方（色々なレシピを参考にしたオリジナルレシピです～）

- 1、りんごは皮をむいて8等分の短冊切りにします。冷凍パイシートは冷凍庫から出しておきます。
- 2、フライパンに砂糖をすべて入れ、弱中火で、茶色くなってくるまでそのままOK。かき混ぜたりする必要はありません。
- 3、茶色くなってブクブクと沸騰したらりんごを入れ、りんごの色が黄金色になり水分が飛ぶまでからめます。
- 4、冷凍パイシートを麺棒やラップの芯などで平たく伸ばし、アルミホイルの上に敷きます。さらにその上に煮詰めたりんごを並べます。もう一枚の冷凍パイシートを2cm幅くらいで細長く切り、交互に上に載せて編みます。
- 5、魚焼きグリルにアルミホイルごと入れ、パイの上には焦げないようにアルミホイルをかぶせます。かなり弱火で20分ほど、焦がさないようにしながら焼いて出来上がりです。



あまり普段料理をしない、と言っていたキョウちゃんですが包丁捌きはなかなかのもの。スルスルとりんごを剥いていました。社長よりうまいんじゃない？

アップルパイをガスグリルで焦さないコツは、ただただゆっくり焼くことです。実は写真を載せていませんが、2つ焼いたパイを2つとも焦がしてしまいました。(笑) 火の管理を担当したマックスが待てずに途中で火力を強くしたりしたせいです。皆様はゆっくりあせらず焼いてください。大丈夫、うまくできます！同じように、じっくりとフライパンで焼いてもいいのかもしれないですね。今度は、こちらを試してみます。

パイシートを伸ばすのに使ったのは、会社にあったラップの芯です。作ろうと思えば、身近な食材と道具で“アップルパイ”だって簡単にできるんですね～♪



割烹着も、よく似合っています！

🍪 焦げたのは、ご愛嬌で～

試食した人	今日の料理は★いくつ？(最高得点 ★3個)
澤谷さん (3)	★★★★ りんごにしっかり味がついて美味いです！
社長 (3)	★★★★ ぜひ、ガスを使って作ってください！
さっちゃん (3)	★★★★ 私のアップルパイと同じくらいおいしいね～
マックス (3)	★★★★ 私が焦しちゃったね～、でも、星みっつー！
キョウちゃん (2)	★★★ 次は焦がさないようにします…



砂糖を「カラメル」にすることを、「キャラメリゼ」と言うそうです。

この紅玉りんごで作ったキャラメリゼにアイスを添えて食べるだけでも、とっても美味しいデザートになりました！





社長のちよつと長い「コラム」

「東京旅行」

所用があり、東京へ行ってきました。今年初めてです。せつかなので金曜日も休みをもらって夫婦で出かけました。用事はすぐに済んで、あとはなにも予定がありません。どう過ごそうかと二人で思案して、とりあえずひとつ決めました。ちよつと最初のお昼を、毎日新聞の地階のカレー屋さんで食べていたのですが、この旅行の間は、チェーン店ではないお店でごはんを食べよう！ということになりました。ガイドブックはありません。

まずは何年も前に、夫婦で立ち寄って感激した甘味処へと日本橋へ向かいました。味もさることながら、かなり高齢の女性が元気で働いておられたのが忘れられなく、ぜひ再訪したかったです。地下鉄を降りてすぐの場所にあるはずです。お店に近づくと、ありました。けれどなにか店内がうす暗い。とびらを開けると、その方がいらつしやいました。でも、店はやっていない雰囲気です。

「めんなさいね、手を火傷しちゃって休んでいるの。またやるんですよ店は。またお願いしますね」残念でしたが、次はいつになるだろうと思いつながら、お大事にとごあいさつをしてお店を後にしました。もちろん、甘味は別のお店でしっかりといただきました。夜は上野で、宿泊先のホテルの近くの居酒屋へ行きました。



入るとカウンターに年配の女性三人連れが楽しそうにしています。「どちらから来たの？」
「北海道です」。

「いいわね、食べ物も美味しいし。北海道のどこ？」
「浦河です」。

(三人とも)「知らないわあ」。でも、居酒屋のご主人だけが「俺は知ってるよ。えりもに行ったことあるから」。これにはちよつとがっかりはしましたが、楽しくお付き合いいただき、「銭湯に行きたいので失礼します」というと、「ちよつと待って。私のを差し上げるわ」と、入浴券をいただきました。すごくうれしかったですね。

翌朝もチェーン店では食べませんでしたよ。ぶらぶら歩いて見つけたおじいさんとおばあさんが営む小さなお店で、焼き立てパンを買いました。歩道の柵に座って食べたこのカレーパンと塩パンは、ホントに美味しかったなあ。散歩の帰り道、すれ違い様に、「こんにちわ！」と声を掛けられました。誰だろう？上野に知り合いはいないけどと思っていると、昨夜の居酒屋でお目にかかった女性の一人です。「楽しい旅行をね！」と歩いていかれました。なんだか、うれしかったです。

お昼は上野公園内の小さなお店でラーメンを食べました。妻は好物の味噌ラーメンです。となりのテーブルで年配の男の人が、ラーメンでビールを一本飲んでいました。男性が帰るとき、「体調が良かったらまたおいで」とお店の女性が声をかけたのですが、古くからの馴染みなのかな、当たり前だけど、この方も若さを持ってあまっていた頃があったんだよね、などと思いを巡らせました。夜は神保町で中華料理の食堂に入ってみると、中国人のご夫婦が切り盛りしていました。奥さんの日本語が美しいのにはびっくり。というふうな二日間ぶらぶらと歩き、これ以外にも素敵な人たちと邂逅できた楽しい旅行でした。



さのばわふる日記



最近、事務所に籠り内勤が多い私。お陰様で着々と書類も片付いています。しかし、さほど忙しいわけでもないのに気ぜわしい日々。落ち着かない。

そのひとつの原因は、決算書作成の大仕事。一年に一度の緊張するお仕事。今年の提出日は、十一月十九日の大安。頑張らなくては…

このニュースが配布される頃にはホツとして、まったりダラダラしているのを想像中。今年のご褒美は、やっぱり焼肉かな。ケーキも食べたいし、パフェもいいたく、どうせなら全部おねだりしちゃおうかな。あく楽しみだわ♪
ワクワク♪



なんて！想像している場合じゃないんだった。

まだ完成していない申告書の書類の山を目の前にし、締め切りが先の原稿を書いている私。今日の午後からニュースの料理をするって言うてたな。

私の嫌いな物だから興味ないし。食べられないので、不参加決定！

明日から連日の片付けのお仕事が入っているし、その後は、連休でお休みをいただいているし、やっぱり余裕なくギリギリかも…
こんな言い訳する時間があるなら、さっさとお仕事お仕事。
気合いを入れてドンドンやりますよ。

「安心して下さい社長！出来ていきますよ！」
今季の決算書もあと少しで完成ですから。

発行 株式会社マルセイ

灯油・プロパンガス販売・機器修理
廃棄物収集運搬・暮らしのサポート事業

冬季期間(10月~3月) 定休日: 日曜・祝祭日 営業時間 8:30~6:00 土曜3:00

編集 おはなし家(マックス) 発行部数 3500部

【Emailアドレス】 marusei.gs@gmail.com

【マルセイブログ】 「マルセイブログ」で検索してみてください

〒057-0005 浦河町東町うしお1丁目9-3

TEL 0146-22-5123 FAX 0146-22-5789

